

茨城県農産物販売推進東京本部情報

平成30年 9月

1 東京都中央卸売市場(平成30年1~8月)の青果物取扱高について

- ① 全体の入荷量は約122万tで、前年比5%減、金額は約3,755億円で前年比1%増となった。
- ② 茨城県産の入荷量は約14.5万tで、前年比4%減、金額は約393億円で前年比2%増となった。
 (金額の内訳は、野菜約323億円、果実約71億円。前年同期比で野菜2%増、果実増減なし、平年同期比で野菜7%増、果実6%増)
 金額が【増加】した品目(前年対比)：こまつな(127%)、みず菜(120%)、はくさい(112%)
 金額が【減少】した品目(前年対比)：レタス類(85%)、れんこん(94%)、メロン類(96%)
- ③ 茨城県の1~8月計の青果物入荷量は平年比1%減(シェア11.8%)、取扱金額は同6%増(シェア10.5%)となった。

	市場計 ※2			茨城			他県のシェア(1~8月計)			
	1~8月計	年間計	年間比	1~8月計	年間計	年間比	千葉	北海道	栃木	
数量	H30	1,224,309		145,053	←シェア(11.8%)		11.6%	7.8%	3.7%	
	H29	1,289,886	1,994,086	64.7	150,683	236,414	63.7	11.8%	8.1%	3.4%
	(前年比)	95		96	シェア(11.7%)					
	平年値※	1,289,482	2,003,485	64.4	146,791	228,865	64.1			
	(平年比)	95		99	シェア(11.4%)					
金額	H30	375,495		39,315	←シェア(10.5%)		8.3%	4.1%	6.2%	
	H29	371,141	570,141	65.1	38,729	60,168	64.4	8.4%	4.6%	6.0%
	(前年比)	101		102	シェア(10.4%)					
	平年値※	360,355	553,898	65.1	36,924	56,083	65.8			
	(平年比)	104		106	シェア(10.2%)					

(単位：t, 百万円, %)

※1：平年値は平成25~29年の5カ年平均。

※2：市場計は東京都中央卸売市場における総計を表す。

《参考》

平成29年実績
(1~12月計)

茨城県：金額シェア(10.6%)、数量シェア(11.9%)
 千葉県：金額シェア(8.0%)、数量シェア(10.9%)
 北海道：金額シェア(5.9%)、数量シェア(11.6%)

2 東京都中央卸売市場(平成30年8月単月)の茨城県産青果物主要品目の取扱高

()内は前年対比

野菜類の入荷量は約7.3千トン(95%)、単価は383円(113%)、金額は約28.1億円(107%)
 果実類の入荷量は約2.4千トン(102%)、単価は349円(91%)、金額は約8.5億円(92%)

※平年比(全国比)は、市場全体の数量、単価と、市場全体の平成25~29年同月の5カ年平均値との比率

	品目	数量(t)			単価(円/kg)			金額(千円)				
		前年比%	平年比	平年比(全国比)	前年比%	平年比	平年比(全国比)	前年比%	平年比			
野菜	ねぎ	1,271	104%	89%	92%	376	119%	132%	124%	478,027	124%	118%
	れんこん	535	116%	107%	104%	521	89%	100%	99%	278,990	104%	107%
	みず菜	443	100%	90%	86%	433	109%	117%	115%	191,844	109%	105%
	ピーマン	359	93%	94%	99%	513	139%	167%	174%	183,920	130%	157%
	野菜類計	7,336	95%	93%	94%	383	113%	124%	118%	2,811,742	107%	115%
果実	日本なし類	2,014	99%	92%	103%	346	90%	104%	100%	696,445	89%	96%
	果実類計	2,447	102%	96%	90%	349	91%	104%	116%	853,351	92%	99%

(野菜)

- ねぎ 本県産は高温・干ばつの影響で肥大がやや鈍り細物傾向であった。また、北海道・東北の産地では降雨の影響で収穫作業の遅れや生育不良が発生し、入荷量が減少した。入荷量が少なかったことで高単価となり、販売金額は前年・平年を上回った。
- れんこん 昨年は地上部の生育が鈍く、塊根の肥大も遅れた影響で出荷量が伸びなかった。今年は、高温・干ばつの影響により肥大のばらつき等は見られるが生育は順調であり、出荷量は前年・平年を上回った。その結果、単価は前年より安く、販売金額は前年・平年を上回った。
- みず菜 高温・干ばつの影響で、生育が停滞し出荷量が減少した。昨年は曇天雨が続いたため出荷量が減少しており、本年は出荷量の少なかった昨年並みで平年比90%となった。数量減や野菜全体の入荷量減少により、単価は昨年・平年を上回った。

(果実類)

- 日本なし類 幸水が7月下旬から出荷が開始されたこと、豊水が当初より出荷開始が遅くなったことから、8月の出荷量は減少した。前年は梨の出荷が遅れ高単価だった影響もあり、本年の単価は前年比90%だが、平年を上回った。

※各数値は、東京都中央卸売市場実績を基に算出